

Japanese Association of Trombonists JAT NEWS

第 60 号

日本トロンボーン協会会報 2003.6 発行

事務局：〒112-0013 東京都文京区宮羽1-20-14 MBS音羽ビル5F プロアルテムシケ内 tel. 03-3943-6677 fax. 03-3943-6659
郵便振込：日本トロンボーン協会事務局 東京 9-175867

第5回トロンボーンアカデミー＆フェスティバル報告



(写真左 全員合奏で指揮をする三輪純生会長)

(写真右 郡 恒一郎 実行委員長より最優秀賞の発表)

ではグループの成り立ちや練習方法などのインタビューがあり、演奏後リラックスしたブレイヤーの本音が楽しいトークとなりました。スペシャルゲストのトロンボーン・カルテット・ジバング、向井滋春4トロンボーンズの演奏



でフェスティバルも最高潮となり、最後は会長三輪純生指揮の全員合奏で幕を閉じました。ところが盛り上がりはこれで終わらず、同会場で行われた懇親会でジバングのメンバーとアマチュアの方のアンサンブルや、日ごろ聞けないプロ同士の競演が実現しました。

【第5回トロンボーン・アカデミー終了】

2003年3月22日(土) 北区滝野川会館にて第5回トロンボーンアカデミーが開催されました。日本全国から小学生から60歳まで47名の方々が集い、基礎トレーニングからアンサンブルまで5時間あまりのレッスンを受講されました。アカデミーは2000年以来の開催ですが、日ごろ専門家の音やアドバイスに触れる機会の少ないアマチュアや学生の方に大好評で「来年もぜひ参加したい!」という受講生さんの声にスタッフ一同たいへん感謝しております。

アカデミーの締めくくりは親睦会です。全国からの参加者との情報交換や、講師への練習方法の質問など、全員がトロンボーン吹き共通の話題で盛り上がれるのもアカデミーならではです。

【第5回トロンボーン・フェスティバル終了】

スペシャルゲストにトロンボーン・カルテット・ジバング、向井滋春4トロンボーンズを迎えたフェスティバルもついに終了!。在京音楽大学の学生によるオープニングコンサートでは各大学の個性が發揮され、お客様にとっては楽しい聞き比べになりました。アンサンブルコンテスト

アカデミー＆フェスティバルの写真はトロンボーン協会のホームページで御覧になれます。

日本トロンボーン協会のホームページ：

<http://www.jat-home.jp/>



初心者クラス 小学生はとにかくかわいいです
となりのトトロから「風」



第7回コンペティション1位の 中村 弥生さん
曲はボザ「アレグロヒフィナーレ」



第8回コンペティション2位の 竹宮 千恵さん
曲はギルマン「コンサートピース」



第9回コンペティション1位の 武内 紗和子さん
曲はボザ「バラード」



トロンボーン・クアルテット・ジバング
左から 岸良闘城、桑田 真、吉川武典、門脇賀智志



向井滋春 4トロンボーンズ
左から 佐藤春樹、中路英明、向井滋春、堂本雅樹
Bass 山下弘治 Pf. 今泉正明 Drums 安藤正則

「向井滋春 FOUR TROMBONES」

5/25(日)発売

スキップレコード SKIP-2008

向井滋春、佐藤春樹、中路英明(tb) 堂本雅樹(btb) 今泉正明(pf) 山下弘治(b) 安藤正則(ds)

◆価格=税込み 2,800 円 ◆問 =045-224-1040 スキップレコード:高野

Meet with MUSIC Giants

去る3月、ロサンゼルスのロイド・エリオット氏の住まいを訪ねる機会がありました。氏は私が2001年に開催しました"100人のトロンボーンコンサート2001"のゲストでハリウッドでウエストサイド物語からスター・ウォーズ、ETなど1000を超える映画音楽の録音に長年たずさわつてこられました。3月30日ロサンゼルス空港にポンダのブレリュード（アメリカでは別名アキュラ・クーベ）で迎えてくださりそのまま空港近くのブラヤ・デル・レイにある作曲家、ジャック・ヘイズ氏（100人のトロンボーンコンサート2001のためにファンファーレを作曲）のヨットハーバーを見下ろせる高台にあるお宅へ。ヨットクラブで昼食を御馳走になった後、氏のお宅へ戻り仕事部屋を拝見させて頂きました。20畳ほどのスタジオに古めかしいアップライトピアノと大きな製図用テスクがあり壁にはヘンリーマンシニやハリウッドポールオーケストラの指揮者デヴィッド・ローズなどヘイズ氏が共に仕事をしてきた音楽家の写真が・・・。壁際の大ぶりの棚にはまっさらのオーケストラ用五線紙が山と積まれておりピアノの譜面台にも書きかけフルート協奏曲の五線紙が乗っていました。81歳になられても創造する意欲は衰えることはないようです。



（ジャック・ヘイズ氏のスタジオにてロイドエリオット氏と）

その夜はエリオット氏のお宅に泊めていただきました。夕食の後案内された彼の6畳ほどの練習室にはパソコンとマイクロfonが置かれておりそこで御自分で打ち込んだリズムセクションをバックに多重録音した演奏を聴かせて頂きました。75歳くらいになる彼は、体力を考えて仕事を減らしている現在、自分の神経や精神を老化させないため御自分を敢えて忙しくさせているのだそうです。

そこで彼は録音のコツのようなものを教えてくれまし

た。スタジオでの録音では皆さん良く御存知のスター・ウォーズのようなパワフルな演奏でもいわゆるフォルテシモでは演奏しないそうです。音量はメゾフォルテとフォルテの間くらい、音質が崩れないようにして演奏するそうです。余談ですが、はるか昔、芸大にトニー・ペダーソン（皆さんは彼の名前は御存知のはず）氏が来られた時一緒にアンサンブルを楽しむ機会がありました。彼が目の前で力強いフォルテを演奏しているのですが全くうるさくないので。その時の謎がエリオット氏の話で解決したような気がしました。

翌朝はCOCO'Sというファミレスで朝食、トロンボーンの基本的な奏法についてお聞きしました。深い呼吸が大切なこと、右手はリラックスしていること、そしてアンプシュアに関する話では唇をあまり引き過ぎないようにと言われテーブルにあったスープ用の大さじを横向きにして唇を被いました。私の解釈としてはスプーンの外にはみ出るほどには引かないと言うことかとおもいました。

お昼頃ハリー・ベツ、ジョージ・ロバーツの両氏が相次いで到着。ロバーツ氏の運転するトヨタ・カムリで美味しいイタリア料理屋へ。3人の昔話につきあうことになりました。話に出てくるお友達はジューン・クリスティとかミルト・バーンハートなど私達が古いレコードで良く見かけた名前ばかり、その他ロバーツ氏はガムをマウスピースに詰められるなど悪戯をされたけれど自分も悪戯好きで、ある時彼がいないので周りの人が探しているとダブルベースのハードケースの中にドラキュラのように横たわっていたとか。音楽界の第一線でもこのようなジョークはあったのですね。

午後はエリオット邸の居間で過ごしましたが、ベツ氏から『(100人のトロンボーンコンサートの)3回目はいつだ?』などと私にとっては恐ろしい質問が飛び出しました。夕刻、ベツ氏の運転するフェアレディZで空港近くのホテルに送って頂きました。

何歳になっても意欲満々のおじいちゃん・・・失礼! 4人の紳士たちでした。

文：村上準一郎



（左からロイド・エリオット、ジョージ・ロバーツ、ハリー・ベツ、筆者）

トロンボーン基礎レッスン Part3 村上準一郎

初心者の人はあまり難しい曲を練習するのは良くないと言われます・・・が、ロングトーン練習によって呼吸の安定やアンブッシュの形成を行いリップスラーの練習ある程度こなせば後は教則本などいろいろな譜面を演奏することにより新しいテクニックを身につけることができます。

トロンボーン協会の会員の方々はある程度経験を積まれた方が多いことだと思いますが、充分な呼吸、正しい音程、それに安定したテンポさえ守ればそれは可能です。新しい譜面は始めのうちは大きな壁であるかも知れません。しかし何度も挑戦することによりいずれ乗り越えられます。苦手だからだと言って簡単なものばかり演奏していると技術は伸びません。スポーツで言えば、例えば走り高跳び。目の前にバーがあるからこそ人間は記録を出すために工夫をし技術を開発できます。バーがなければ高く飛ぶための目安を得られません。教則本や新曲の譜面は走り高跳びのバーと同じです。

今回御紹介したいのはボブ・マクチェスニーと言うジャズトロンボニストの教則本です。

彼はビル・ワトラスやカール・フォンタナのような速いフレーズを演奏するスペシャリストです。ダブルタンギングやトリプルタンギングを使い速いパッセージを演奏するための練習方法を段階的に示し 模範演奏を収録したCDとともに学ぶ人を高いレベルへ導くように構成されています。これは皆さん良く御存知のアーバン教本と似たコンセプトの導き方です。

ボブ・マクチェスニーはDA, DULなどのジャズを演奏するためのシラブルを使用していますが、これを TwTwTwKwTwKw に置き換えると普通のダブルやトリプルタンギングとして練習することができます。ただし、この本はジャズ奏者のための本なので強い音が逆になり KwTwKwTwKw となります。それを DaGaDaGa や RaDaRaDa で演奏するとレガートでの速いパッセージの練習になりリップスラーの練習がここで役に立つのです。しかしリップスラーを使わなければならないとは考えないので下さい。DaGaDaGa や RaDaRaDa で演奏すると勝手に唇が変化してリップスラーが自動的に行われるようになります。その変化を楽しんでいただければ速いフレーズの演奏も嫌いで無くなるかも知れません。

初心者からダブルタンギング、トリプルタンギングを練習していればそれが当たり前になっているでしょう。私も早くやっておけば良かったと悔やんでいます。

前号で御紹介しました椋野謙介氏のレポートにもありますようにコンラッド・ハーウィッグのレッスンではダブル、トリプルを使ったハーウィッグ氏のエチュードを学習することがほとんどだった様です。既にアメリカのジャズトロンボーン奏者を目指す若者の中にはこれらのテクニックを使いこなしている人たちが多くなっています。

ビル・ワトラスやカール・フォンタナの演奏を聞いて驚いている時代はそろそろ終わらなければならないのかも知れません。

エチュードよりいくつかの譜例を示す

Trk 13

Maintain a consistent volume level (mf) and observe the rests (stop the airstream).

3 3/4 Even eighths ♩ = 132

The musical score consists of two staves. The top staff begins with a bass clef, a '3' over a '4' (common time), and a 'B' (flat) sign. It has a tempo marking of 'mf'. The bottom staff begins with a bass clef and a 'B' (flat) sign. Both staves are filled with eighth-note patterns consisting of 'da' and 'da ul' sounds, with rests separating groups of notes.

MONOMONO 4 MONOMONO

64 = 108 - 144

da ah da ah da da ah da ah da da ah da ah da ah da ah da ah da

139 pt 2 = 112 - 152

dau I la da ah u I la da ah u I la u I la ah dau I la u I la u I la da ah u I la u I la da ah u I la ah

1) Take the A Tram

= 126 Trk 1

da da u I la da da da da da ah da da da ah

教則本の購入方法

・・・早いバッセージを演奏するための注意点・・・

名称： Doodle Studies and Etudes by Bob McChesney

価格： 38usドル

申込先： HICKEY'S MUSIC CENTER

ホームページURL： <http://www.hickeys.com>

住所： 104 Adams Street

Corner of Dey & Adams Street

Ithaca, New York 14850

以上2つはどんな演奏にも共通することではあります
が、絶対に避けたいことですね

Tel(607)272-8262 Fax. (607)272-2203

名門ニューヨーク・フィルの首席奏者たちによる世紀の金管五重奏、待望の再来日！！ ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット

- フィリップ・スミス（トランペット） Philip Smith
- トーマス・スミス（トランペット） Thomas Smith
- ショゼフ・アレッシ（トロンボーン） Joseph Alessi・・・ フィラデルフィア管、モントリオール管首席奏者を経て、1985年よりニューヨーク・フィルの首席奏者に就任。優れたソリストとして活躍している。
- フィリップ・マイヤーズ（ホルン） Philip Myers
- カイル・ターナー（チューバ） Kyle Turner

◆予定プログラム◆

ケツィア:金管五重奏曲 作品65 モンティ:チャルダーシュ ブライヤー:スコットランドの釣鐘草(ソロ:J.アレッシ)
ハウフレヒト:金管五重奏のための「組曲」バーンスタイン:ウェスト・サイド・ストーリーより 他

2003年

7月2日（水）尼崎市総合文化センター（アルカイックホール） 19:00 指定席 4000/高校生以下 1500

問：アルカイックホール 06-6487-0810

7月3日（木）大田区民ホール・アブリコ 19:00 S3500/A2500/B1500 問：大田区民ホール・アブリコ 5774-1600

7月5日（土）石巻文化センター

7月6日（日）ハートピア春江 14:30 大人 4000/高校生 2000/中学生以下 1500（当日 500 増）

問：ハートピア春江 0776-51-8800

7月7日（月）電気文化会館コンサートホール

7月9日（水）飯田文化会館 問：飯田文化会館 0265-23-3552

7月10日（木）なら100年会館 19:00 問：なら百年会館 0742-34-0111

7月11日（金）高槻現代劇場 19:00 一般 3500／学生 1500 問：高槻現代劇場 072-671-9999

7月12日（土）佐倉市民音楽ホール 14:00 A3000／B2500／学 1500 問：佐倉市民音楽ホール 043-461-6221

企画・招聘：プロ アルテ ムジケ 東京都文京区音羽1-20-14-5F Tel.03-3943-6677

プラス芸術を極めた男たち、今までCDでした聴けなかった幻のアンサンブル、遂に初来日！！

プロ・プラス Ensemble Pro Brass

2003年12月2日 [火] 19:00 すみだトリフォニーホール

全席指定：SS 6,800 (CD付) / S 6,000 / A 5,000 / B 4,000 / 学生 3,000 (当日指定)

※SS券、学生券はプロアルテのみ受付

※JAT会員 10%off (プロアルテのみ受付)

主催・お問合せ：プロ アルテ ムジケ TEL.03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp/>

★その他公演

12月4日（木）福島市音楽堂

12月5日（金）いづみホール（大阪）

★Trombone

ヴァルター・フォーグルマイア(ウィーン交響楽団) アルフレード・ラウス(ソリスト) ジークフリート・ブンツ(ソリスト) シャンドール・パローグ(ブタベスト祝祭管弦楽団)

★Trumpet

ハンス・ガンシュ、ガボール・タルケーヴィ、トーマス・ガンシュ 他2名

★Horn ヤノーシュ・ケヴェハージィ、イエヌー・ケヴェハージィ ★Tuba ヴィルモシュ・シボ

★Drums クリスチャン・ミュールバッハ ★Percussion ゾルタン・ヴァルガ

★Piano & keyboard ミヒヤエル・ホーネック

プロフィール：

オーストリア北部で産声を上げたアンサンブル・プロ・プラスは、いわば「フリー・オーケストラ」。幅広いプログラムを次々と繰り出している。デビュー後まもなくオーストリア国内のみならずヨーロッパ全土でその名を轟かせるようになり、魅力溢れるコンサートが大人気を集めている。1983年に、数人のブラス・プレイヤーが偶然何かのワークショップで出会った際に結成。音楽的にもすっかり意気統合した彼等は、年に数回集まってコンサートを開いたり、レコーディングをするようになる。やがて聴衆や批評家たちの絶大な支持を得、国内外でその活動の幅を広げていくこととなる。キャッチワード「Just Blow Freely」を掲げ、地域的な、また音楽的なジャンルは重要ではない、「ただ自由に吹け」を身上に自由な音楽活動を続ける。プロ・プラスの独自性の鍵は、なんといってもその高い音楽性にある。曲の細部にまで気を配り、あらゆる音楽スタイルを股にかけ、型に捕われないプログラムの数々、限りない音楽の可能性を我々に見せ付けてくれる。活躍中の作曲家とのコラボレーションも盛んで次々と新しいプログラムが生み出されている。プロ・プラスのモットーは「シンプル・アンド・ブリサイズ(正確さ)」。「プロ・プラス」という名前も、あえて特定の地名を含まず彼等のポーダーレスな音楽を印象付けている。ヨーロッパプラス音楽の「国際フォーラム」さながらに、オーストリアを始めとし、ハンガリー、フランス、ドイツ、イギリスなどのトップ・オーケストラ奏者が集結。オーストリアにおいて、プロ・プラスのような楽器編成(5トランペット、4トロンボーン、2フレンチ・ホルン、テューバ、バーカッショーン、キーボード、そしてドラム)は大変珍しい。とはいっても、音楽的な柔軟性が彼等のなによりの優先事項で、あらゆる要求に対して編成は広げられたり、またはソロ・リサイタルにまで自在に変化する。

プログラム：

C. ミュールバッハ：フレッドの為のミニマル・ミュージック G.ロッシーニ：「セビーリヤの理髪師」より“アリア”
ハンス・ガンシュ(ピッコロ・トランペット) アルフレード・ラウス：青きドナウ・ラグ W.ビルヒナー：「ファイヤー
ウォーター・ミュージック」より エルトン・ジョン：「ライオン・キング」より“愛を感じて”他

企画・招聘：プロアルテ ムジケ 東京都文京区音羽1-20-14-5F Tel.03-3943-6677

【会報編集係からの質問】

協会ホームページで協会関係イベントの写真は御覧頂きたいのですが、パソコンをお持ちではない方、お持ちでもプロバイダの関係で写真等を御覧になりにくい方、会報の写真が楽しみだと言う方、(ホームページがあるので)そんなに必要無いと言う方はお知らせ下さい。ホームページの方が写真の数も質も会報をはるかに凌いでいるとは思いますが、皆様の御意見にて調整させて頂きます。

MOVE?

事務局からのお願い

住所変更

された方はお知らせ下さい。

TEL : 03-3943-6677

FAX : 03-3943-6659

会報編集部より

この会報は日本トロンボーン協会の主旨に添い、内外のトロンボーン奏者、トロンボーン愛好家、音楽ファンを応援すべく発行されています。

会員の皆様の中で会報制作に参加してみたいと思われる方は村上まで御一報下さい。また、情報・質問等もお寄せ下さい。お待ちしております。

会報編集担当

村上 準一郎 TEL&FAX 03-3484-8577

E-Mail : info@jat-home.jp

HomePage : <http://www.jat-home.jp/>

第3回 50本のトロンボーン大集合！

～スラブ行進曲に挑戦！！～

(チャイコフスキイ 作曲)

日 時 2003年 9/13(土)～15(祝)
会 場 ベンション平川 (岐阜県吉城郡上宝村荒原) 高山駅から送迎バスあり
<http://www.openheartpension.com/>
曲 目 スラブ行進曲 など
募集定員 40名 (トロンボーン愛好家の方、音大生、高校生含む) テナー30名 バス10名

講 師 近藤孝司 (大阪センチュリー交響楽団)
下島昌史 (東京フィルハーモニー交響楽団)
若狭和良 (東京交響楽団)
今村照行 (セントラル愛知交響楽団)
日生貴之 (瀬戸フィルハーモニー交響楽団)
市村信持 (群馬交響楽団)
村上準一郎 (元・シャーブス&フラツツ)
細洞 寛 (東京フィルハーモニー交響楽団団友) (音楽監督)
石川敦也・立嶋紀里子・古橋孝之・牧田大助・山根禄里

参加費 一般 ¥10,000
宿泊費 一般 ¥18,000 (バーべキュー・パーティ一代を含む)
(前日泊ご希望の方は、別途¥6,500,-にてお泊りいただけます。)
※学生 ¥23,000 (参加費+宿泊費)

スケジュール 9/13(土) 10:00～12:00 個人レッスン
(集合できる方・ドイツ管講習も可能です。)
13:00～ 集合
14:00～ 合奏
18:30～ バーべキュー・パーティ
9/14(日) 9:30～12:00 パート練習
13:30～16:00 合奏
16:00～18:00 個人またはグループレッスン
18:30～ 夕食
20:00～22:00 合奏
9/15(祝) 14:00～ スラブ行進曲などをバスカル清見にて野外演奏
現地にて解散

主 催 オープンハート トロンボーンアンサンブル
バスカル清見 <http://pascal.hidakiyomi.org/>

協 力 トロンボーン アンサンブル クリップ
<http://www.geocities.co.jp/MusicHall/5523/>

募集締め切り 定員になり次第締め切り
申し込みについて

- ・郵送先 平121-0813 東京都足立区竹の塚4-5-13 古橋孝之 宛
- ・takayukifuruhashi@hotmail.com
- ・追って詳細をご連絡致します。

お問い合わせ

古橋孝之 (ふるはし たかゆき) takayukifuruhashi@blissbrass.com 090-8777-2470
平尾達也 (ひらお たつや) dolce.hirao@nifty.ne.jp 0263-86-8292

2002年度 会計報告

2002年度会計決算（仮）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	473,029	会報印刷費	197,925
会費	508,000	会報制作費	100,000
雑収入	18	会報発送費	172,338
		通信費	15,880
		事務消耗品	11,836
		会費引落手数料	49,847
		雜給	12,000
		雜費	16,897
		事務所費	0
		理事会、総会会場費	8,340
フェスティバル	0	慶弔費	0
コンペティション	0	フェスティバル	0
懇親会	0	コンペティション	0
前年度未収金	0	懇親会	0
前年度未収金	0	未収金	0
		次年度繰越金	395,984
合計	981,047	合計	981,047
今年度計	508,018	今年度計	585,063
今年度收支	-77,045		

2003年度会計予算

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	395,984	会報印刷費 (75,000×1.05×4)	315,000
会費	1,100,000	会報制作費 (60,000×4)	250,000
利息	0	会報発送費 (60,000×4)	240,000
		通信費	10,000
		事務消耗品	10,000
		理事会、総会会場費	50,000
		事務所費	30,000
		雜給 (12,000×4)	48,000
		雜費	60,000
		慶弔費	30,000
コンペティション(*2)	800,000	コンペティション(*2)	800,000
		予備費	20,000
		次年度繰越金	432,984
合計	2,295,984	合計	2,295,984
2003年度計	1,900,000	2003年度計	1,863,000

2002年度会計報告
2003年度会計予算



ESTABLISHED IN 1999

BEST BRASS
CORPORATION

natural acoustic silencer with a built-in pick-up unit

e-Brass

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~bestbras>

SIGNATURE MOUTHPIECE

片岡 雄三
ジャズ・スタジオ
VIRTUOSO-S.L.神谷 敏
NHK交響楽団
TB-S/L吳 信一
京芸・サイトウ記念
SYM-L / VIRT-L門脇 賀智志
新日本フィル
BT / CONTARA

Shinji HAMANAGA

トロンボーン吹きの皆さん、こんにちは！ BEST BRASS の濱永です。去る3月に行われたトロンボーンフェスティバルに参加し、新商品のイーブラスやシグナチャーマウスピースを展示しました。その時の様子が、6月号のバンドジャーナルP113『ホール・ロビーに設けられた楽器店ブース』に写真掲載されています。見てね。それから、バストロンボーン用 e-Brass も近日発売予定です。

〒430-0802 静岡県浜松市将監町 20-2

電話 : 053-411-8525